

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスぴーす		
○保護者評価実施期間	令和6年6月20日		～ 令和6年9月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和6年12月20日		～ 令和7年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い園庭で活動ができること。	定期的な設備点検を行い、環境保全に努めている。	大型遊具は外部業者に点検を依頼している。
2	音楽療法とリトミックを取り入れて、心身の障がいの改善や生活の質の向上を目指していること。	様々なプログラムを取り入れて、子ども達が楽しみながら活動出来るようにしている。	音楽療法の先生や職員同士で打ち合わせを行い、利用者の様子や嗜好を以後の療法に取り入れている。
3	施設内に生活介護事業所があるので、一緒にイベントを行うなど交流の場を設けている。	高等部の希望者には、作業体験を行っている。	卒業後の進路についての研修会に参加している。 夏に開催していた定期イベントを、気温上昇に伴い冬に変更した。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園庭が川や田んぼに面しており、ボール遊びが出来ない。	園庭が高台にあり、ボールがフェンスを越えてしまうと危険なため。	ボール遊びをするときは、広い公園や運動が出来る施設で行うようにする。
2	利用者全員に合った集団での活動が固定化してしまっている。	利用者の年齢層が幅広いため。	様々な内容の研修に参加していく。
3	障がいのない子どもと交流する機会がない。	近くに放課後児童クラブや児童館がないため。	散歩や施設外活動のとき、挨拶などで交流していく。